

C-1 本時の展開

・本時の学習（第1次5／6）

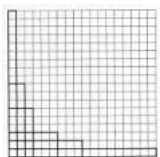
(1) 小単元名 反比例

(2) 学習のねらい

・長方形の辺と面積の関係を調べ、具体的な事象のなかにある2つの量の関係に関心を持ち、反比例の意味を理解し、反比例の特徴について考察する。

(3) 準備 グラフ黒板 掲示用グラフ用紙 生徒ワークシート（2種類）

(4) 展開

段階	学習活動	時間	支援（・）と評価及びその方法（ 囲み）																		
つかむ	1. 本時の課題を知る。	2	・「課題」プレートを提示し、課題を板書することで、課題をつかむ助けとする。																		
	長方形の縦と横の長さには、どんな関係があるのか？																				
追求する	2. 次の条件に合う長方形を見つけ出す。 ・面積が 18 cm^2 の長方形	15	・「縦の長さ」が求められない生徒には、計算の方法を提示し、考えの助けとする。 ・活動に取りかかることが出来ない生徒には、教科書にあるグラフ用紙と同じものを「補助プリント」として配布し、試行錯誤できる場とする。 ・条件にあてはまる長方形の例を、生徒に板書させ、発表しやすい雰囲気づくりに努める。																		
	<table border="1" style="margin: 10px auto;"><tr><td>横の長さ(cm)</td><td>...</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>...</td></tr><tr><td>縦の長さ(cm)</td><td>...</td><td>18</td><td>9</td><td>6</td><td>4.5</td><td>3.6</td><td>3</td><td>...</td></tr></table> ・ $(\text{縦の長さ}) = (\text{面積}) \div (\text{横の長さ})$ 面積が 18 cm^2 の長方形（補助プリント） 	横の長さ(cm)	...	1	2	3	4	5	6	...	縦の長さ(cm)	...	18	9	6	4.5	3.6	3	...		
横の長さ(cm)	...	1	2	3	4	5	6	...													
縦の長さ(cm)	...	18	9	6	4.5	3.6	3	...													
深める	3. 長方形の横と縦の長さの変化のようすについて考察する。	15	長方形の辺と面積の関係を調べ、具体的な事象のなかにある2つの量の関係に関心を持ち、反比例の関係を調べようとしている。<発言・ノート> 【数学への関心・意欲・態度】																		
	<table border="1" style="margin: 10px auto;"><tr><td>横の長さ(cm)</td><td>...</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>...</td></tr><tr><td>縦の長さ(cm)</td><td>...</td><td>18</td><td>9</td><td>6</td><td>4.5</td><td>3.6</td><td>3</td><td>...</td></tr></table> ・縦に並んでいる数の積がすべて18になる	横の長さ(cm)	...	1	2	3	4	5	6	...	縦の長さ(cm)	...	18	9	6	4.5	3.6	3	...		・周りの生徒と気がついた点を相談するように促し、新しい考え方が広まりやすくする。
横の長さ(cm)	...	1	2	3	4	5	6	...													
縦の長さ(cm)	...	18	9	6	4.5	3.6	3	...													
まとめる	4. 反比例の特徴についてまとめる。	5	・比例の特徴を振り返り、比較してまとめる。 反比例の意味を理解し、反比例の特徴について考察している。 <ノート・ワークシート・発表> 【数学的な見方・考え方】 ・考察のポイントをつかみやすくするために、座席が近い生徒同士で話し合いをする場面を設ける。																		
	一方が2倍、3倍...になると、もう一方は$\frac{1}{2}$倍、$\frac{1}{3}$倍になり、その積が一定の値をとる、ともなって変わる量の関係を「反比例」という。																				
	5. 日常生活の中から反比例のものを考える。 ・1000円で買える本の冊数と本の単価	12	・まとめの内容は、生徒が考えた言葉をいかした表現にして、生徒の理解を助ける手立てとしたい。																		
	6. 次時の予告をする。	1	・1つをとりあげて表をつくり、関係を確認する。																		